

令和 6 年度 恵庭市観光推進協議会(第 1 回)議事録

1 期 日 令和 7 年 1 月 31 日(金)10:00～ 市役所庁舎 3 階第 2・3 委員会室

2 出席者 恵庭市観光推進協議会委員 8 名

(高野会長、石田委員、小泉委員、武井委員、田村委員、中尾委員(代理:東氏)、沼倉委員、葉袋委員)
事務局 5 名

(江川経済部長、廣瀬花と緑・観光課長、高橋主査、藤原主任、伊里(記))

3 報告

(1)恵庭市観光推進協議会設置要綱の改正について

●資料 2「恵庭市観光推進協議会設置要綱(改正後)」について、事務局より説明。

・改正箇所は、第 6 条と第 7 条の 2 か所。第 6 条最初の「協議会は」の部分について、改正前は「検討会は」となっていたが、現在は検討会の位置づけがないことから、協議会へと変更を行った。第 7 条について、改正前は「原則無償とする。ただし、学識経験者・有識者に対し報償を支払う。」とだけ記載していたものを、額について明記した。

4 議事

(1)第 2 期恵庭市観光振興計画の推進状況について

●資料 3「第 2 期恵庭市観光振興計画概要」、資料 4「第 2 期恵庭市観光振興計画アクションプラン進捗状況」、資料 5「令和 6 年度観光施策実施状況」、資料 6「観光入込客数推移」、資料 7「恵庭市ルルマップ自然公園ふれらんど整備方針」について、事務局より説明。

・資料 3 から資料 7 のとおり

<質問・意見>

・【A委員】スターリンクを使った公衆 Wi-Fi の導入は令和 7 年度に実施するということか。また、設置場所については、白扇の滝のみであるか。

⇒【事務局】令和 6 年度にスターリンクの実証実験を行い、通信可能であると証明されたので、令和 7 年度の設置に向けて進めている。設置については、白扇の滝滝見広場にスターリンク 1 台を予定している。

・【B委員】はなたびタクシーについて、どの範囲で利用されているか把握可能であるか。タクシーチケットの趣旨としては、マリOTTホテルから恵庭市内の飲食店まで足を延ばしてもらい食事してもらうということだと思うので、市外までの交通費の足しにされるような利用方法だと趣旨が変わってくると思われる。

⇒【事務局】タクシーチケットの配布にあたり、マリOTTホテルから「市内の商業施設・飲食施設を利用する場合にお使いください」と説明をお願いしている。タクシー事業者から報告を受け、行先についても集計しており、恵庭市内で利用されていることを把握している。

⇒【A委員】上限金額はあるか。

⇒【事務局】1,000 円のタクシーチケットを 2 枚お渡ししているので、2,000 円が上限となる。

・【C委員】恵庭市観光振興計画の指標は、入込客数であるのか。当社では昨年より工場見学を有料化し、お客様満足を高めるために個人客をメインターゲットとするリニューアルを実施したところ、来場者・お土産購入率・

購入単価すべてが増加する好循環が起こった。現在、来場者の 8 割から 9 割が個人客で、航空機搭乗までのわずかな時間で、最後の 1 スポットとしてご来場される個人客も増加している。

⇒【A委員】第 2 期恵庭市観光振興計画の中では、入込客数以外にも指標を掲げているか。

⇒【事務局】指標としては、観光入込客数と観光消費額を掲げている。第 3 期恵庭市観光振興計画策定に向けて経済波及効果を活用した指標を設定していければと検討している。

・【D委員】恵庭市の誇れる観光資源として「花」と「恵庭溪谷」が挙げられており、「花」については道の駅や街中など市を挙げて取り組んでいるように感じられる。「恵庭溪谷」については、どのような取組を行っているかお伺いしたい。

⇒【事務局】恵庭溪谷の観光推進の一環として、二次交通の課題改善のため、紅葉シーズンにバス運行を実施した。今後は森林資源を活用した、えにわ湖でのカヌー体験、森林鉄道遺構の観光資源化、森林地域でのトレッキング等体験型コンテンツの検討を引き続き進めていきたいと考えている。実施事業者がいないという課題についても検討を進めていきたい。

⇒【A委員】資料 5 に盤尻地区魅力向上事業の写真が掲載されているが、本件には恵庭観光協会も関係しているか。

⇒【E委員】令和 5 年度は恵庭観光協会 60 周年事業として紅葉バス運行事業を実施したが、令和 6 年度は市が実施している。

⇒【A委員】紅葉時期の周遊バス運行について、民間にて事業化することは難しいのか。

⇒【事務局】令和 6 年度は参加料 1,000 円で実施したが、実施後アンケートで「2,000 円であれば参加するか」という質問をしたところ、参加しないという回答が多く、採算が取れないため民間での事業化が難しいと感じている。来年度も市が主催して実施したいと考えている。

⇒【A委員】C委員のおっしゃっていたように、有料化することで好循環が起こることもあるため、料金の値上げをし、相応のサービスを提供するという手法も検討してみてはいかがか。

⇒【事務局】おっしゃる通り、有料化して事業収益を上げるということは可能であるとする。滝を見るだけでなくコンテンツがそこにあるということが重要である一方、駐車場が足りないという課題もある。

・【A委員】シェアサイクルについて、以前は 3 ポートで実施していたものを現在は花の拠点(はなふる)だけで実施しているということか。

⇒【事務局】令和 3 年度から令和 5 年度の 3 か年、恵庭駅・恵み野駅・花の拠点(はなふる)の 3 ポートで委託事業によるシェアサイクル運営を実施していたが、収益が出ず事業終了となった。令和 6 年度からは、恵庭観光協会が花の拠点(はなふる)での自転車貸出、3 か年シェアサイクル運営を行っていた事業者が恵庭駅で自主事業として自転車の貸出を行っている。

・【A委員】新市街地の開発について、ホテル用地は検討しているか。

⇒【事務局】現在、具体的に固まっているものはない。エリアとしては、工業団地、商業地、住宅地というような開発の可能性があるものについて検討を行っている。何の用地であるかというものは現段階ではない。

⇒【A委員】千歳市や札幌市の宿泊状況を見ると、恵庭市でも相当な宿泊の需要があると感じている。

⇒【事務局】おそらく今後宿泊需要が高まってくるため、状況を見極めながら検討を行っていく。

⇒【B委員】恵庭市にて青年会議所の大会が開催された際、多くの人々が恵庭市に訪れ、夜には 100 名程が参加する懇親会が開催される。しかし、恵庭市内で宿泊施設が確保できずに、千歳市や札幌市を宿泊先とする人が大半であるため、市内消費が行われていない。恵庭市内に宿泊することにより、懇親会後に市内飲食店に行くなど、経済効果が生まれると思うため、宿泊施設が必要であると感じている。

⇒【事務局】市街地拡大とは別の話になるが、駅の近くなどホテルの適地がないという現状である。事業者からの情報を得ながら検討を行っているが、現実的にはなかなか叶わない状況であることが課題である。明確な報告はできないが、そのような誘致の努力は行っているところである。

・【D委員】ルルマップ自然公園ふれらんど整備について、今後のスケジュールを教えてください。

⇒【事務局】事業者からのサウンディングによりニーズを把握したうえで資料 7 の整備方針を策定しており、この整備方針をもとに、改めて事業者との対話を行い、進めていく予定である。早期に改修し、集客を始め収益をあげたいということもあり、令和 7 年度には測量調査等を実施したいと考えているが、相手方の事業者の状況もあることから、報告できる内容には限りがある。

⇒【D委員】次期観光振興計画を策定する上で、ルルマップ自然公園ふれらんどの整備も踏まえて検討していかなければならないと考えている。

⇒【事務局】今後事業が進んでいくにあたり、ご報告できる内容やスケジュールをお示ししていきたい。

⇒【A委員】合宿施設の整備を検討しているようだが、都市計画的な変更という話になるのか。

⇒【事務局】都市公園法の中で導入可能な施設について検討し、整備方針に反映させているため、都市計画的な変更にはならない。

(2)次期観光振興計画策定について

●資料 8「次期恵庭市観光振興計画策定予定表」、資料 9「次期恵庭市観光振興計画構成案」について、事務局より説明。

・資料 8、資料 9 のとおり

・資料 8 について、令和 7 年度中に次期観光振興計画策定を目指したいと考えているため、観光推進協議会を 5 回程開催予定である。

<質問・意見>

・【A委員】次期観光振興計画策定について、委託を行う予定であるか。

⇒【事務局】分析調査については委託するが、直営で計画の策定を行う。

・【C委員】初めから全て実施することを目標にするのではなく、ある程度優先順位を付けて第 3 期であれば何に集中的に投資するのかを検討する必要がある。維持するものや、縮小するものなど、メリハリが必要であると考えます。

以上